

## 賑わい広場整備の進め方

---

# 1. 賑わい広場整備の基本的な考え方①

## ■ 基本的な考え方

- 羽田空港の国際化、リニア中央新幹線の整備等を踏まえ、「日本の成長を牽引する新たな国際交流拠点の形成」に向けて官民協働でまちづくりを推進する。
- 品川駅周辺の限られた空間を有効に活用するため、国道15号道路上空を活用し、歩車分離した安全・安心の道・駅・まちが一体となった世界に誇れる賑わい広場(デッキ)等の都市基盤を整備する。
- 国道15号の上空の空間の活用にあたっては、
  - ・ 民間の活力による「賑わい」の創出
  - ・ 訪日外国人への国内情報の発信
  - ・ 道路構造の改良を考慮したバリアフリー化
  - ・ 隣接ビル群と連携した防災拠点の形成等道路空間の立体的な活用(立体道路制度)も考慮したまちづくりを関係者とともに推進する。

## ■ 官民の分担

- 賑わい広場と一体となり施設整備を行う者、再開発ビルと賑わい広場を直結させる者等は、道路空間を活用することによる受益をもって、主体的にまちづくりを先導し、整備に係る費用等の負担を図る。
- 国道15号の道路管理者は、まちづくりの公益性と施設の公共性を鑑み、まちづくりの具体化及び整備に協力する。
- 道路管理者は、まちづくりに関し、必要となる道路構造等の改良及び管理等にあたっては、その必要性に鑑み、適宜、協力する。
- 賑わい広場の管理運営にあたっては、民間事業者の収益の還元をもって、日常的な管理運営を維持する。
- 賑わい広場の具体化及び整備にあたっては、民間資金の導入による施設整備と運営の最適化、民間事業のノウハウ、コスト管理と収益のバランスを図りつつ、事業の成立性を高められるスキームとして民間事業者が事業を提案する公募提案方式を採用する。

## ■ 現状課題

- ・ 駅、まちの連続性が低く、鉄道、バスの乗り場が分散
- ・ バリアフリーとなっておらず、移動の負担が大きい
- ・ 駅前広場や歩行者の空間が不足しており、国道15号の交通の輻輳が散見



## ■ 整備後のイメージ

- ・ 駅、まちを直結させる賑わい広場(デッキ)の整備により、飛躍的な利便性の向上
- ・ 国道上空に商業施設等を設けることで、これまでにない賑わいを創出



## 2. 賑わい広場整備の基本的な考え方②

### ■ 賑わい広場の空間イメージ

#### <駅前広場として>

- ・鉄道、リニア、バス、次世代モビリティなど、様々な交通の利用や乗り換えのための待ち合いや居場所の空間となるよう機能、サービスの提供を国際交流拠点としての役割を十分に認識し、その施設整備及び運営を民間事業者が担う
- ・整備後のマネジメントを含めた頑強な都市基盤の運営の組織の立ち上げも視野に入れた街のあり方を指向
- ・交通情報だけでなく、新たな街への入り口として、観光情報、施設サービス情報等の提供も多言語で実施



ロッテルダム中央駅 (オランダ)



東京観光情報センター バスタ新宿

#### <商業施設の前庭として>

- ・オープンカフェなどにより、賑わいの創出や快適な空間を提供するとともに、日本文化の発信等を適宜行い、この場所に居て楽しく、心が和む空間を演出
- ・商業等の利便増進施設と駅ビルと連続的な利用が可能となる空間を形成
- ・商業等の施設は、地域に根ざした生活インフラの一部としての機能も維持しながら、日本文化、各地方の情報提供及び物産等の販売等も可能となる「都市型の道の駅」としての新たな機能を創出



二子玉川ライズ



バスタマーケット バスタ新宿

#### <イベントスペースとして>

- ・都市のための新しいイベントスペースとして、日常的、非日常的（災害発生時等）な時間と空間をサポート
- ・イベント自体が集客源となることで、歩行者を誘導し、品川駅周辺の駅とまちの回遊の拠点として、人、モノ、情報が行き交い、様々な出会いや体験を通して感動を享受できる魅力ある空間づくり
- ・国際交流や日本文化、各地方の発信を意識したイベントの演出



ENCANTS MARKET (スペイン)



東京国際フォーラム

#### <防災施設として>

- ・災害時における帰宅困難者の一時滞留場所としての機能及び空間として、駅に集中する帰宅困難者への支援
- ・鉄道やバス等の運行、被災情報のタイムリーな情報をデジタルサイネージや Wi-Fi 環境を活用し、提供できるよう機能の集積とインフラの整備



広域防災拠点イメージ (写真提供：宮城県)

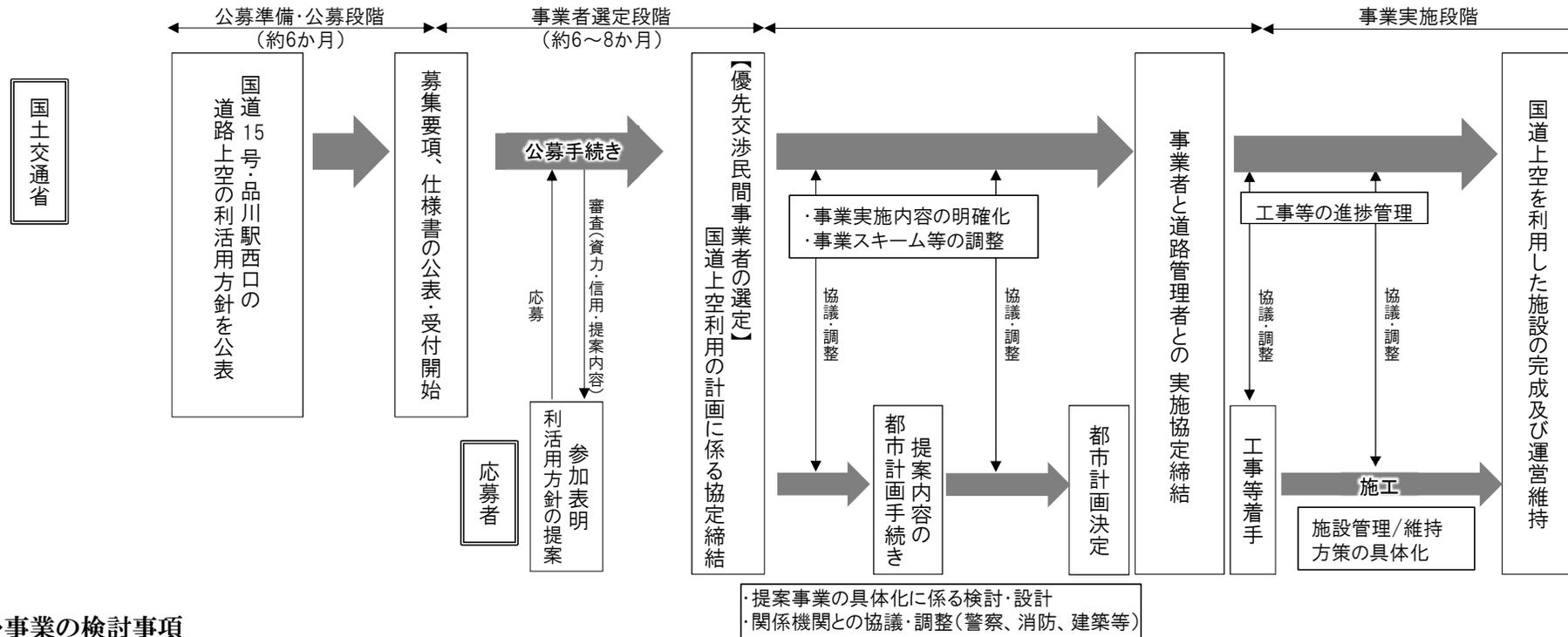


国土交通省対策本部車

### 3. 賑わい広場事業の進め方

- ・国道15号・品川駅西口の道路上空の利用に際し、上空の利活用方針・募集要項・仕様書等を公表。応募のあった事業者の中から優先交渉事業者を選定、国道上空利用計画に係る協定を締結
- ・優先交渉事業者は提案事業の具体化に係る検討・設計を進めるとともに、関係機関との協議・調整を行い、提案内容の都市計画手続きを実施
- ・都市計画決定後、優先交渉事業者と道路管理者が実施協定を締結し、事業者は施設整備に着手

#### ◆事業の手続きの流れ



#### ◆事業の検討事項

年度	2018	1年目	2年目	2年目~3年目	4年目以降
道路上空の利用の進め方について	品川駅西口駅前広場の事業計画(公表)	<ul style="list-style-type: none"> <li>●道路上空の利活用方針                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域課題及び道路交通課題</li> <li>・道路上空を利用し、課題の解決に向けた方針</li> <li>・道路上空利用の考え方</li> </ul> </li> <li>●募集要項の作成</li> <li>●仕様書の作成</li> <li>●選考基準の設定</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●事業者の募集</li> <li>●事業者選定審査委員会の運営</li> <li>●優先交渉権者の選定</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●事業実施内容の明確化</li> <li>●事業スキーム等の調整</li> <li>●提案事業の具体化に係る検討・設計</li> <li>●関係機関との協議・調整                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・警察</li> <li>・消防</li> <li>・建築 等</li> </ul> </li> <li>●提案内容の都市計画手続き</li> <li>●建築基準法に係る手続き</li> <li>●事業者と道路管理者との実施協定締結</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●提案事業の工事実施</li> <li>●施設管理/維持方策の具体化</li> </ul>

<選考基準の視点のイメージ>

- ①事業者の資力、資格、信用
- ②課題解決方針
- ③課題解決に資する事業計画
- ④事業内容及び実施手順
- ⑤事業手法
- ⑥施設管理/維持方策

等を個別に審査し、的確性、妥当性を評価

※賑わい広場事業に係る時期、期間については、現時点における想定であり、事業内容を関係者と協議・調整した結果により異なる場合がある